

つま読み書きの部屋(教案)

担当者 伊藤素美

テーマ	見て伝える		分類	⑤人と付き合う
実施日時	①	2019年6月10日 19:00~21:00	②	2019年6月11日 10:00~12:00
目標	見たものの位置関係をきちんと伝える			
使用教材	テキスト・絵カード・文字カード			
その他資料	なし			

時間		流れ	語彙・文法
19:00 (10:00)	19:10 (10:10)	(導入) 木の上に猫がいる写真を見せる。 かわいいですね、誰かにかわいい猫を見たことを伝えたいでしょ。→見たものを伝えられない人と伝わらなくて困っている人の寸劇をする。 伝えるのは難しいね、ちょっと伝える練習をしましょう	～の～に～が～います・あります
19:10 (10:10)	19:40 (10:40)	(場所を示す表現) 絵カードを見てどこにいるのか、あるのか表現する。 ～の前に・後に・右に・左に・中に、などなど。 いろいろな物が書かれている絵カードを見て、位置関係を表現するのにどうしたら良いか考える。 表現のテキストを配る。	ボール箱 左下 右上 真ん中 向こうに いくつかの
19:40 (10:40)	20:00 (11:00)	(伝えるゲーム 書きタスク) 一人一人の学習者に違った絵を渡す。 各々が絵にあるものの位置関係をリストに従って書く *日本人スタッフはリストに書き込むのを手伝う。	
20:00 (11:00)	20:40 (11:40)	(伝えるゲーム 話す) 一人が自分の絵の位置関係を話して、他の人は紙に聞いた事を絵にする。日本人スタッフで見本のゲームをする。 *見本に日本人同士で伝える人書く人になってやってみせる。 *絵を描くのに形にはこだわらないので、簡単な絵でよし、絵が無理なら、印で位置を描いても良い。 自分が伝えた絵・聞いて描いた絵をみんなにも見せる。	
20:40 (11:40)	21:00 (12:00)	(格助詞「に」以外の場所の格助詞「で・を」) 木の下で男の子が休んでいる絵を提示。 この絵を表現するにはどう言いますか、男の子は何をしていますか?→木の下で休んでいます。 「で・を」を使う表現を導入する。 格助詞は述語で決まる事を説明する。	～の～で～が～しています ～の～を～が～しています 忍者